

資料提供	
令和5年3月27日	
担当 (担当者)	水産試験場 (藤原・太田)
電話	0859-45-4500

腹節(通称:ふんどし)に雌の特徴を持つ珍しい松葉がにが水揚げされました

甲羅幅等の外観の特徴は雄のズワイガニの特徴ですが、雌の特徴となる丸い腹節を持つ珍しいズワイガニが水揚げされました。鳥取県においては、過去採集報告例がない珍しい個体です。概要は下記のとおりです。

記

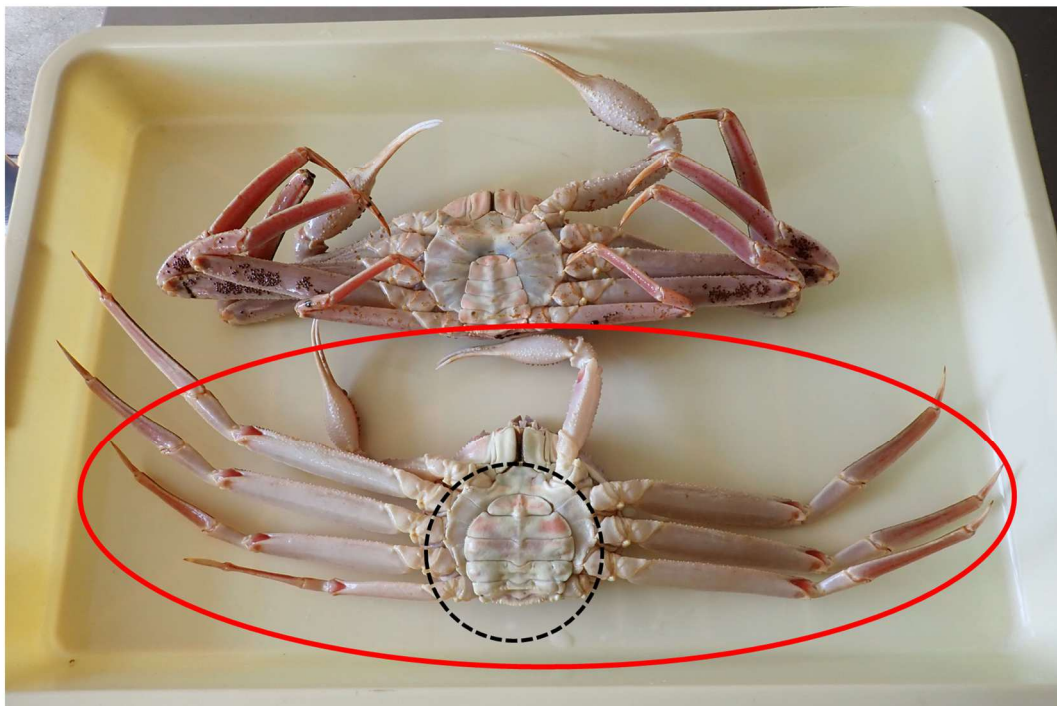
1 発見の経緯

3月6日、境港水産物地方卸売市場にて水揚げされ、選別作業中に境港魚市場(株)の職員が特異な特徴を持つズワイガニを発見した。なお、水揚げしたのは田後漁業協同組合所属の沖合底びき網漁船の宝生丸(95トン、所有:丸中水産(有)、船長:中原^{なかほらとよかず}豊一)。

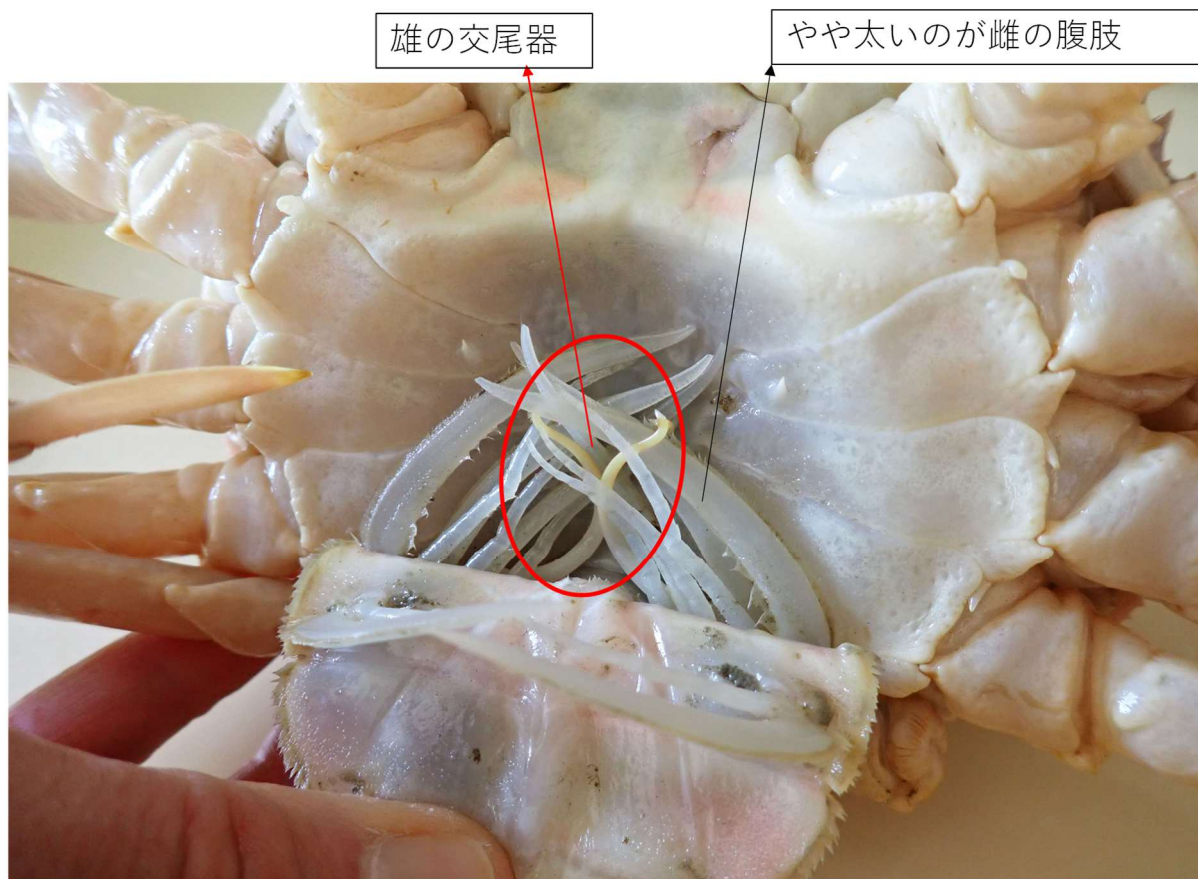
2 珍しい個体の特徴

(甲幅) 119.44 mm

上が通常の雄のズワイガニ、下が今回の珍しい特徴を持つズワイガニ
(腹節が丸く雌の特徴を持つ)



腹節の内側には雄の交尾器がある。また、雌が産卵後の卵を保持するための細毛がある腹肢がある。



【参考】

通常の雄の腹節の内側



通常の雌（成熟個体）の腹節の内側



3 その他

サンプルは当場の水槽にて現在も活きた状態で保管中（R5. 3/27 時点）。

サンプルについてはこれまで前例がない珍しい個体のため、今後、国の研究機関（国立研究開発法人水産研究・教育機構）にて雌雄判別も含め、より詳細な DNA 解析等について研究が進められる予定。